

ビザ(V)

米消費者信用残高や米個人消費支出が堅調に推移。
急増した貯蓄の反動による、消費拡大が追い風に

フィリップ証券株式会社

ニューヨーク | 消費者金融 | 業績レビュー

BLOOMBERG V:US | REUTERS V.N

- 2022/9 期 2Q(1-3 月)は、売上高が前年同期比 24%増、当期純利益が同 21%増、Non-GAAP の当期純利益が同 27%増の増収増益。
- 行動制限の緩和に伴い、決済金額、クロスボーダー決済金額(国境を越えての決済金額)、取引の処理件数が全て増加したことが寄与。
- 3 月の米消費者信用残高は前月比 14.0%増、4 月の米個人消費支出(PCE)は前月比 0.9%増と、堅調な個人消費が同社の追い風となる。

What is the news?

4 月 26 日発表の 2022/9 期 2Q(1-3 月)は、純収入が前年同期比 24%増の 71.89 億 USD、総営業費用が同 11%増の 23.87 億 USD、当期純利益が同 21%増の 36.47 億 USD、Non-GAAP の当期純利益が同 27%増の 38.36 億 USD と増収増益。銀行や小売業者に支払うインセンティブが増加した一方、行動制限の緩和に伴い、決済金額、クロスボーダー決済金額(国境を越えての決済金額)、取引の処理件数が全て増加したことが寄与した。

サービス別の 2Q の売上高は以下の通り。①決済サービス利用料等で構成されるサービス収入は、前年同期比 24%増の 35.21 億 USD。決済金額が同 17%増、取引の処理件数が同 19%増となったことが貢献した。②承認、清算、決済、付加価値サービス、ネットワークアクセス、保守、世界中の顧客間の取引促進や情報処理のサポートサービス等で構成されるデータ処理収入は、同 16%増の 34.80 億 USD となった。③国境を越えた取引処理等で構成される国際取引収入は、同 48%増の 22.08 億 USD。クロスボーダー決済金額が同 38%だったことが寄与した。④主に Visa ブランドやテクノロジーの使用に関するライセンス料、アカウントサービス料等で構成されるその他収入は、同 21%増の 4.74 億 USD となった。

How do we view this?

同社は 2022 年 3 月 10 日、欧州を中心に 3,400 以上の金融機関などとデータを接続できる API 基盤を展開するスウェーデンの Tink を買収。Tink は米決済大手ペイパルやフランスの BNP パリバなど 300 社超を顧客に持つ。Visa の持つ顧客基盤、安全性や信頼性と、Tink の持つ API 技術を活かし、金融機関が保有する取引データを外部の事業者へ開放するオープンバンキングの加速を通じたサービス拡大が期待されよう。

米連邦準備理事会(FRB)が 2022 年 5 月 6 日に発表した 3 月の消費者信用残高は、前月比 14.0%増と大きく伸びたほか、米商務省が 5 月 27 日に発表した 4 月の個人消費支出(PCE)も、前月比 0.9%増と事前予想を上回った。また、米国ではコロナ禍による消費の抑制や、2020 年 4 月から実施された 3 回の給付金の支給等により、2021 年末の決済口座(普通預金)残高が約 4 兆ドルと、2 年間で約 3 兆ドル増加した。急増した貯蓄の反動による消費拡大を通じ、引き続き同社の業績拡大が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1USD=132.13円

事業年度	2019/9	2020/9	2021/9	2022/9F	2023/9F
営業収益(百万USD)	22,977	21,846	24,105	28,720	32,437
純利益(百万USD)	12,080	10,866	12,311	15,123	17,402
EPS(USD)	5.88	5.41	6.18	7.11	8.36
PER(倍)	36.21	39.36	34.46	29.95	25.47
BPS(USD)	14.80	16.05	17.86	17.70	19.80
PBR(倍)	14.39	13.27	11.92	12.03	10.75
配当(USD)	1.05	1.22	1.34	1.48	1.63
配当利回り(%)	0.49	0.57	0.63	0.70	0.77

(出所:会社公表資料やBloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD) 1.48 (予想はBloomberg)
 終値(USD) 212.94 2022/6/6

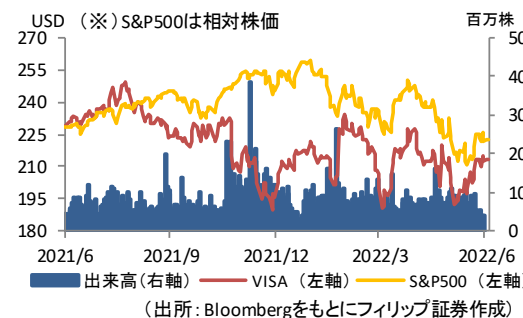
会社概要

2007年設立の世界的な電子決済テクノロジー企業。1958年にバンク・オブ・アメリカが中流階級の消費者と中小小売業者を対象に初めての消費者向けクレジットカード「BankAmericard」を発行し、1976年に「Visa」に改称。2007年に自社組織の再編成を行い設立された。

消費者、企業、金融機関、政府機関等を対象として、中核商品であるクレジットカード、デビットカード、プリペイド、コーポレートカード・パーチャージングカードの他、電子決済ネットワークやATM決済サービスなどを提供している。200以上の国と地域において事業を展開し、カード、ノートパソコン、タブレット、モバイル端末など、様々なデバイスでの利用ができる。

企業データ(2022/6/7)

ベータ値	1.04
時価総額(百万USD)	457,788
企業価値=EV(百万USD)	466,655
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	1,625



主要株主(2022/6)

株主	(%)
1. VANGUARD GROUP INC	8.72
2. BLACK ROCK	7.73
3. ステート・ストリート	4.45

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

山口 亮太
 ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707
 笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。